

取扱説明書

<産業用>

充電 スティックドリルドライバー

品番 EYSDA1N・EYSDA1NS



このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～7ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ		
安全上のご注意.....	2～7	ご使用前に
各部のなまえ.....	8～9	
付属品・別売品.....	9	
<hr/>		
充電する.....	10～11	使いかた
準備～作業.....	12～14	
作業終了.....	14	
LEDライトの使いかた.....	15	
クラッチ固定カバー.....	15	
使いこなし.....	16	
<hr/>		
お手入れ・保管.....	17	お手入れ・保管
<hr/>		
電池パックについて.....	18	お知らせ
能力.....	19	
仕様.....	19	
<hr/>		
故障かな?と思ったとき.....	20～23	点検方法
アフターサービス.....	裏表紙	

安全上のご注意 **必ずお守りください**

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。
 実行しなければならない内容です。

危険



禁止

当社充電工具(本体・電池パック・充電器)は、液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂を未然に防ぐため、下記のような取り扱いはしないでください。

- 作業中に切りくずやほこりが電池パックに降りかかるような作業はしない。
- 保管時、電池パックは切りくず、ほこりを落とし、工具ケース収納時は金属(ねじ、釘など)とは一緒にしない。
- 当社充電工具および当社が認めた充電工具以外に使用しない。
- 分解、修理、改造をしない。
- 電池パックは、火への投入、加熱をしない。
- 電池パックに釘を刺したり、過度な衝撃・外力を与えたりしない。
- 電池パックの端子部を金属などで接触させない。
- 電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない。
- 劣化した電池パックは使用しない。
- 水などの導電体で濡れるような使用はしない。
- 腐食性のガスのある場所で使用しない。

発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。
濡れた場合は、すぐに使用を中止してください。

- 電池パックは専用充電器以外では充電しない。
電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。



必ず守る

- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにバックカバーを必ず取り付ける。
取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

警告

- トルクの日常管理を行なう。
守らないとトルク変動によるボルト緩みが生じ、事故の原因になります。
- 作業を中断するときや使用していないときはロックボタンをロック(LOCK)の位置にする。
- ビットや付属品の交換時、本体保管時は必ずロックボタンをロック(LOCK)の位置にし、電池パックを本体からはずす。
守らないと不意に動作して事故になるおそれがあります。
- 電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする。
 - ・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
 - ・液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流したあと、医師にご相談ください。
 - ・液漏れした電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようにしてください。すぐに販売店にご相談ください。
- 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持する。
けがのおそれがあります。
- 作業個所に電線管や水道管、ガス管などの埋設物がないことを確認する。
埋設物に触れると感電や漏電・ガス漏れなどの事故につながるおそれがあります。
- 騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用する。
守らないと聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。
- 作業時は保護めがねを使用する。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用する。
守らないと目、のどに傷害を受けるおそれがあります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 電源プラグのほこり等は定期的にとる。
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



必ず守る

警告

- 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、ただちにスイッチを切って使用を中止する。
お買い上げの販売店、または、パナソニックお客様ご相談センターにご相談ください。そのまま使用していると、けがの原因になります。
- 指定の付属品やアタッチメントを使用する。
守らないとけがをするおそれがあります。
- 作業する場所は十分に明るくする。
暗く視界が悪いと事故やけがの原因になります。
- 加工するものはしっかり固定する。
不意に動き、けがをするおそれがあります。
安全のため、固定にはクランプや万力などを利用してください。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめ、本体が落下しないようにワイヤーなどで保持する。
本体が落下してけがをするおそれがあります。
- 充電中に充電器から異音や異常な発熱、異臭を感じたらすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電池パックをはずし、お買い求めの販売店へ点検・修理を依頼する。
- 定期的に充電器の風穴にほこりがつまっていないか、また冷却ファンが付いているものについては、充電中に回転していることを点検する。
そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。
- ビットなど先端工具類や付属品は取扱説明書にしたがい確実に取り付ける。
確実に取り付けないと、はずれてけがをするおそれがあります。
- 調節に用いたキーやレンチなどの工具類を取りはずしてから使用する。
守らないと不意にはずれて、けがのおそれがあります。
- 細径ドリルは折れやすいので注意する。
飛散して、けがのおそれがあります。
- 髪や衣服、アクセサリーなどが巻き込まれないような服装で作業する。
守らないと回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
長い髪は、帽子やヘアカバーで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。
- 刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保つ。
破損した刃物類で作業すると、けがのおそれがあります。



必ず守る

警告

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない。
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
- 電源コード・プラグを破損するようなことはしない。(傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、束ねたりしない) 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店にご相談ください。
- 換気のない場所で充電しない。
- 使用中や充電中、本体、電池パックや充電器を布などで覆わない。
- 直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しない。
- 可燃性の液体やガスのある場所で、使用したり充電したりしない。
発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。
- 本体または充電器の風穴をふさがない。
やけどをしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。
- 本体や充電器の風穴から出る熱風を直接肌に当てない。
- 作業直後はビットホルダー、ビットなど先端工具類やネジ・切りくず・電池端子に触れない。
高温になっており、やけどをするおそれがあります。
- 指定された用途以外に使用しない。
けがをするおそれがあります。
- LEDライトを懐中電灯として使用しない。
十分な明るさを確保していないため、このライトを使って暗い場所を移動すると事故のおそれがあります。
- LEDライトの光を直接目に当てない。
LEDライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。
- 使用中は巻き込まれるおそれがある手袋を着用しない。
回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
- 本体や電池パックに油など異物がついた状態で使用しない。
本体や電池パックが落下して事故になるおそれがあります。
また、内部に油などの異物が入ると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。



禁止

警告

	●使用中はビットなどの回転部や切りくずに体または体の一部を近づけない。 不意にはずれたり破損したりしたビットや切りくずが当たってけがのおそれがあります。ビットなどの先端工具は定期的に交換してください。
	●改造はしない。また、分解したり修理をしない。 火災・感電・けがのおそれがあります。 修理はお買い上げの販売店または、当社ご相談窓口にご相談ください。
	充電工具は、下記のような取り扱いはしないでください。 ●雨ざらしや湿った場所で使用や放置をしない。 ●水に浸かるような使用をしない。 発煙、発火、破裂のおそれがあります。
	●ぬれた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししない。 感電のおそれがあります。
	●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。 守らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

注意

	●子供の手の届くところに置かない。 事故やトラブルのおそれがあります。
	●本体を、50℃以上になる場所に保管しない。 動作異常のおそれがあります。

注意

	●モータがロックするような無理な使いかたはしない。 発煙、発火のおそれがあります。 安全に能率よく作業するため、能力に合った速さで作業してください。
	●無理な姿勢で作業をしない。 転倒してけがをするおそれがあります。 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
	●疲れている場合は使用しない。 事故やけがのおそれがあります。
	●子供など作業員以外を作業場に近づけたり、充電工具や充電器に触れさせたりしない。 けがのおそれがあります。
	●本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がってから使用する。 守らないとやけどをするおそれがあります。 複数の電池パックにわたる連続作業はしないでください。
	●電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。 コードを持って抜くと感電・ショートの原因になります。
	●使用前に、本体、電池パック、充電器および先端工具やその他の部品が損傷がなく正常に作動することを確認する。 守らないと破損などによりけがをするおそれがあります。
	●作業する場所はきれいに保つ。 散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
	●取り扱いや作業の方法、周りの状況などに十分注意し、常識を働かせて作業する。 守らないと事故やけがのおそれがあります。
	●屋外で充電する場合は、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用する。 守らないとケーブルが破損して発火、発煙のおそれがあります。 使用前にコードの破損が無い点検してから使用してください。
	●屋外での作業の場合には、滑り止めのついた履物を使用する。 守らないと滑ってけがの原因になります。

各部のなまえ

本体

ロックボタン

P14参照

回転数切替ハンドル

P13参照

ビットホルダー

P12参照

クラッチ固定カバー

P15参照

クラッチハンドル

P12参照

LEDライト

P15参照

電圧低下お知らせランプ

P16参照

LEDライトON/OFFボタン

P15参照

スイッチ
(正・逆転兼用)

P14参照

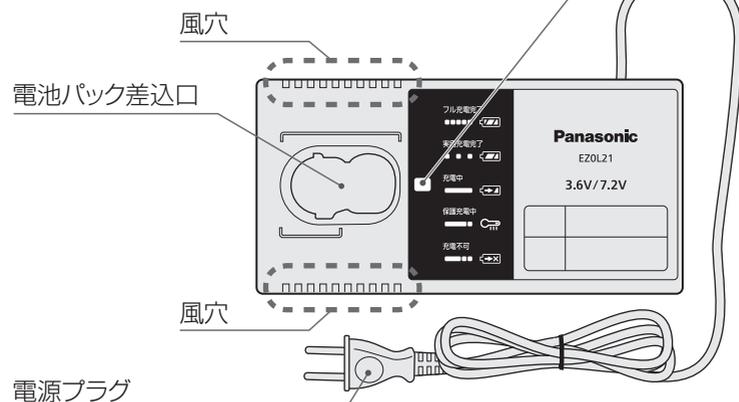
充電器

P10参照

(EYSDA1Nには付属していません)

充電状態ランプ

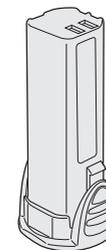
P11参照



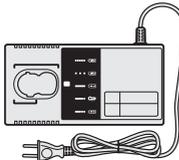
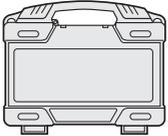
電池パック

P18参照

(EYSDA1Nには付属していません)



付属品・別売品

商品	付属品		別売品の有無
	EYSDA1NS	EYSDA1N	
クラッチ固定カバー 	○	○	○ EZ7410L3108(※1)
ドライバービット#2 (75 mm) 	—	—	○ EZ9BP200
充電器 	○	—	○ EZOL21
電池パック 	○ (2個入)	—	○ EZ9L10
ケース 	—	—	○ EZ9667
専用φ 6.5 mm チャック (チャックハンドル付) ・段付までの長さ13 mm 	—	—	○ EZ9HX408

※1 補修用部品としてお買い求めできます。

充電する

充電の前に

充電器は0~40℃の場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パックを充電してください。

電池パックの温度が0℃以下で充電するとフル充電完了しても通常の約50%程度の充電となります。10℃以上の場所に1時間以上放置してから充電してください。

お願い

- 電池パックを2パック連続で充電したときは充電を約30分休止し、充電器の温度が下がってから充電してください。

お知らせ

- 電源プラグを抜いた後も充電状態ランプが約10秒点灯している場合がありますが、故障ではありません。
- 連続充電するときは、約5秒ほど間をあけてから次の電池パックを差し込んでください。
- 充電器EZ0L21は、コンセントに電源プラグを差し込むと通電はしますが、充電状態ランプはつきませんが、充電状態を表示し、フル充電完了になると速い点滅になります。フル充電状態の電池パックを差し込むと、ランプはすぐに速い点滅になります。

※この取扱説明書に記載の温度は目安です。実際には、条件により、多少のズレが生じる場合があります。

充電のしかた

- お買い上げ時はフル充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。

1 コンセントに電源プラグを差し込む

充電状態ランプ▶消灯のまま

2 電池パックを充電器に差し込む

充電状態ランプ▶充電状態を表示(フル充電完了になると速い点滅)

- 電池パックを差し込んだとき、ランプがすぐに速く点滅する場合は、電池パックがフル充電状態であることを示します。
- 電池パックを正しく充電するために、充電器のグリーンランプが完全に消えていることを確認してから、電池パックを充電器に最後までしっかりと差し込んでください。

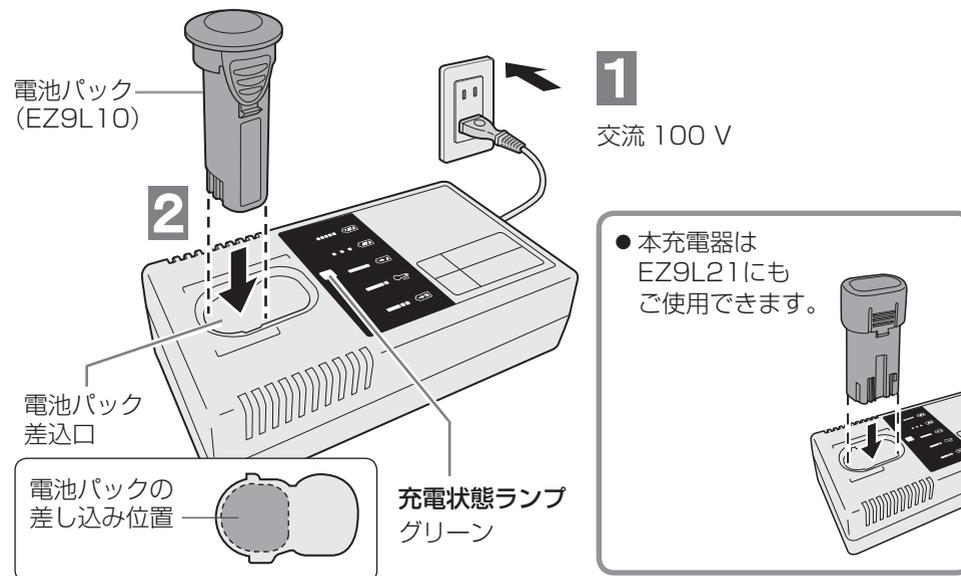
実用充電とフル充電について

実用充電:フル充電の約80%以上の充電が完了した状態。急速に充電します。

フル充電:実用充電完了の後も、充電を続けると電流を下げて電池の能力一杯までゆっくり充電します。

- 充電時間は **P19参照**

3 充電後は、電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く



充電状態ランプの見かた

■ 点灯 ●●●● 速い点滅 ■ ■ ■ 遅い点滅

充電状態ランプ	充電状態
グリーン	
●●●●●	フル充電完了
■ ■ ■	実用充電完了
■	充電中
■ ■	保護充電中
■ ■ ■	充電不可

① 電池パックの温度が60℃以上、または、-10℃以下のとき
▶ 電池パック保護のため、充電は行ないません。
▶ 電池パックの温度が下がる、または、上がった場合に、充電を開始します。

② 電池パックの温度が-10℃~0℃のとき、または、電池パックの電圧が低いとき(長期間放置後など)
▶ 充電電流を下げて、電池パックをやさしく充電します。

※0℃以下の電池パックを充電すると、フル充電完了しても通常の約50%程度の充電となります。
(充電器が0℃~40℃の場所に設置されていることを確認してください)

電池パックの故障
▶ 別の電池パックに交換してください。

準備中のご注意



警告

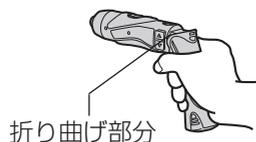
- ビットや付属品の取り付け・取りはずしは、必ずロックボタンをロック (LOCK) の位置にし、電池パックを本体から抜いてください。急に動き出し事故のおそれがあります。

作業中のご注意



注意

- 本体を折り曲げるとき、またストレートにもどすときは本体の折り曲げ部分を持たないでください。手が折り曲げ部分にはさまれてけがをするおそれがあります。

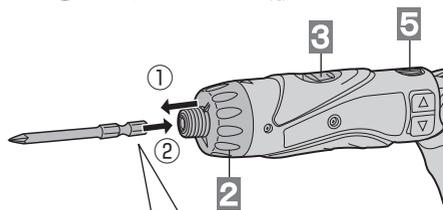


故障させずに長く安全にお使いいただくために、下記をお守りください。

- モータの回転が止まりそうになるような無理な使いかたはしないでください。
- 本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がってからご使用ください。

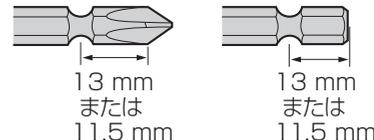
1 ビットを取り付ける

- ① ビットホルダーを引っ張りながら
- ② ビットを差し込む
- ③ ビットホルダーを離す



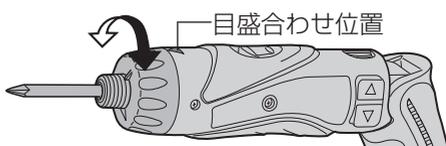
下記のビットをご使用ください。

両頭ビットの場合 片頭ビットの場合



2 クラッチハンドルでトルクを選ぶ

- 作業に応じて約0.13 N·m (約1.3 kgf·cm) きざみで21段階に調整できます。
- ご使用の場合は、設定した目盛でオートストップが確実に働くことを確認してください。
- 電池の充電容量がカラに近づくと、オートストップ^{※1}が働く前にモータの回転が停止する場合があります。そのときは電池を充電してご使用ください。(そのまま使用を継続すると故障の原因になります)



- ※1 オートストップ
…クラッチが作動すると自動的に動作が止まります。

締付トルク目安表

目盛	トルク	ハードジョイント ^{※2}		ソフトジョイント ^{※3}	
		高速モード	低速モード	高速モード	低速モード
1	約0.3 N·m	トルク精度 ±10% 範囲 ^{※4} (1~16)	トルク精度 ±10% 範囲 ^{※4} (1~20)	トルク精度 ±10% 範囲 ^{※4} (1~6)	トルク精度 ±10% 範囲 ^{※4} (1~15)
6	約0.95 N·m				
15	約2.1 N·m				
16	約2.25 N·m				
20	約2.75 N·m	トルク精度範囲外	トルク精度範囲外	トルク精度範囲外	
21	約2.9 N·m				

- 本データは当社測定条件のもとで測定した目安値です。実際の作業では、周囲条件(締付ボルト・部材・固定方法等)により、変化します。実作業での事前確認をおすすめします。
- 目盛が21のときは、クラッチが働かない場合があります。

※2 鉄へのネジ締めなど剛性体への締付条件。

※3 ワッシャやスプリングなど弾性体を介したネジ締め条件。

※4 トルク精度±10%は、各目盛における繰り返しトルク精度値です。

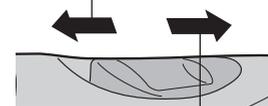
	目盛	ネジ径の目安
小ネジで鉄を締める場合	1~3	M2.5
	4~8	M3
	9~18	M4
	19~21	M5

故障させずに長く安全にお使いいただくために、下記をお守りください。

- 上記締付トルク目安表で示しているトルク精度±10%範囲の目盛でご使用ください。(トルク精度範囲外の目盛で使用するとオートストップが働く前にモータがロックし、故障の原因になります)
- モータがロックするような使いかたはしないでください。
- キリは低速モードでご使用ください。

3 回転数切替ハンドルで高速/低速を選ぶ

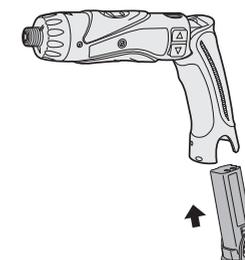
- 最後までスライドさせる。高速 (HIGH / 約 600 回転/分)



低速 (LOW / 約 200 回転/分)

- 回転数切替ハンドルは正しい位置にセットしてください。最後までスライドしないと不完全な位置にセットされ、そのまま使用および放置すると故障するおそれがあります。
- 本体が停止した状態で回転数を切り替えてください。動作中に切り替えると故障するおそれがあります。

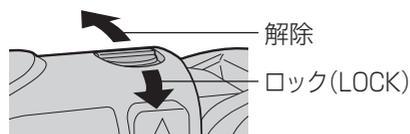
4 電池パックを取り付ける



準備～作業 (つづき)

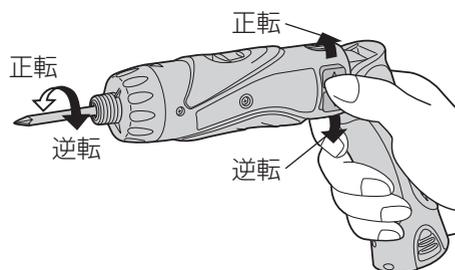
5 ロックボタンを解除する

- 使用後は必ずロック (LOCK) に!

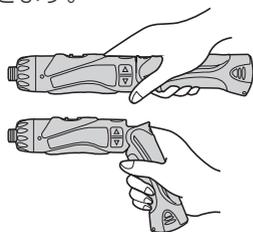


6 正/逆転を決めスイッチを入れる

- オートストップ機能により、クラッチが作動すると自動的に動作が止まります。続けて作業するときはいったんスイッチを切ってから行なってください。



- 作業場所やネジ締め状態に応じてストレート/折り曲げで使い分けができます。



本製品の電池パックの使用温度範囲は10～40℃以下です。寒冷地などで10℃以下に冷えた電池パックをそのまま使うと、本体が正常に動作しない場合があります。このときはご使用前に電池パックの温度を上げるために10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで使用してください。

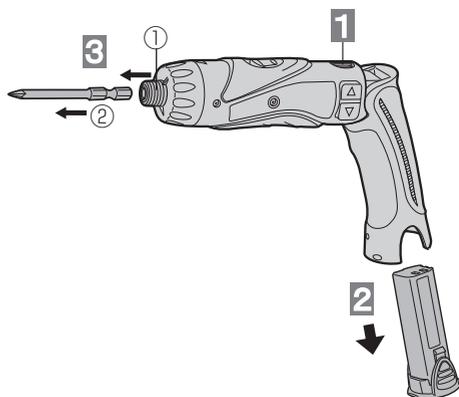
作業終了

1 ロックボタンをロック (LOCK) にする

2 電池パックを抜く

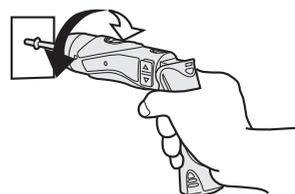
3 ビットを取り出す

- ① ビットホルダーを引っ張りながら
- ② ビットを抜く



手廻しドライバーとして使うとき (手締め機能があります)

- 5 N・m (約51 kgf-cm) 以下でご使用ください。
- ボックスドライバー (M6ボルト以上) での無理な取りはずしなどはしないでください。
- 低いクラッチ目盛で強い手締めを行った場合、手締めのロックが解除できず、手締め後の動作時に最初からオートストップが働く場合があります。解除するにはクラッチ目盛を高くして動作させてください。



LEDライトの使いかた

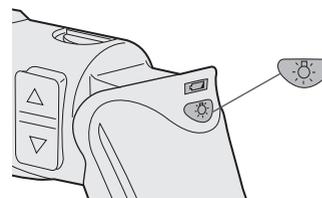
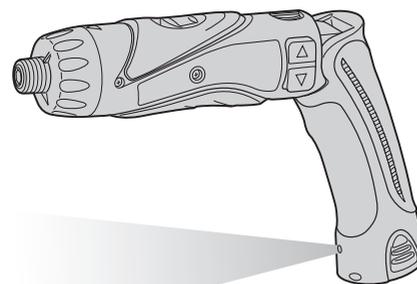
奥まった暗い場所や天井裏での作業時に、作業する部分を照らします。

警告

- LEDライトは補助ライトです。懐中電灯としては使用しないでください。事故やけがのおそれがあります。
- ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。ライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。

1 を押すたびにライトが点灯/消灯する

- 電池パック取り付け直後やLEDライト点灯時5分以上/消灯時1分以上何も操作しない状態で放置すると自動的に電源がOFFの状態になります。スイッチ (正・逆転兼用) を入れて一度、動作させてください。確かめのうへご使用ください。



- ライトは微小電流で点灯します。本体作業能力にはほとんど影響ありません。
- 本体をストレートにした状態では、ビット先端部を照らすことはできません。

クラッチ固定カバー

選定したクラッチ目盛設定を固定できます。

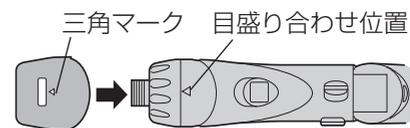
取り付けかた

1 クラッチを働かせるトルクを選ぶ

- 選定の目安 **P13 参照**

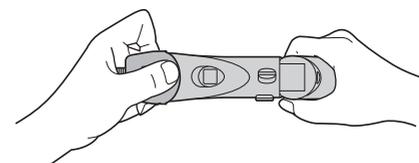
2 クラッチ固定カバーを取り付ける

- クラッチ固定カバーの三角マークと本体の目盛り合わせ位置を合わせて取り付ける



取りはずしかた

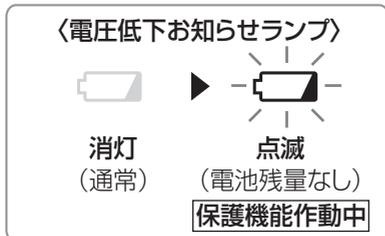
1 クラッチ固定カバーの△ PUSH マークと下部を指で押さえながら取りはずす



- このとき、クラッチ固定カバーの横を押さえ引くと本体から抜けにくくなります。
- はずれにくい場合は、片方の手で回転数切替ハンドルを握り、もう片方の手でクラッチ固定カバー部分を上から握り、ひねりながら引き抜いてください。

電源自動停止機能

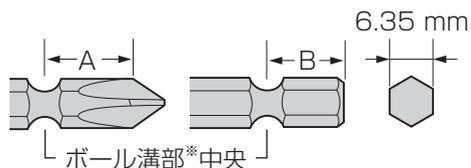
- 電池電圧が一定基準まで低下した場合、本体の電源を遮断する機能です。
- 電源自動停止機能作動時に電圧低下お知らせランプが点滅します。



- 電源自動停止作動時は、スイッチを引いても動作はしません。充電された電池パックに交換してください。
- この機能が作動したときのネジ締めは設定したトルクが出ていません。
- フル充電した電池パックでも、作業条件によっては、電源自動停止機能が働く場合があります。電池パックを一旦はずして再度取り付けてください。

ビットピースを使う(別売)

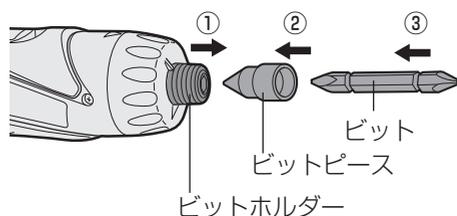
ビットの寸法と本製品への取り付けの可否



※ボール溝部のないストレートのビットは使用できません。

AまたはBの長さ	使用の可否	
13 mm	○	使用可
11.5 mm	○	使用可
9 mm	△	ビットピース(別売)が必要です。

ビットピースの取り付けかた



お手入れのしかた

やわらかい布でふく

ぬれた布やシンナー、アルコール、ベンジンなど揮発性のものは使用しない。(変色・変形・割れの原因)



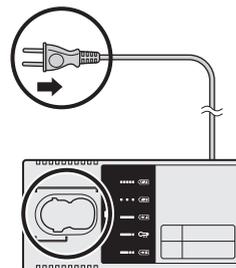
長持ちさせるために

- ネジのゆるみ、破損、動作の異常などがないか定期的に点検してください。
- 充電器のコードが損傷していないか定期的に点検してください。
- 定期的にメンテナンスを販売店、または当社ご相談窓口にご依頼してください。



充電器の電池パック差込口のゴミを取り除く

① 電源プラグをコンセントから抜く



② 電池パック差込口内部のゴミを取り除く

- 内部の端子を変形させないように注意してください。

保管のしかた

電池パックを短絡させないでください。

- 工具箱などへ電池パックを裸で入れるとクギやペンチに触れてショートし、大変危険です。



以下の条件を避けて保管してください。

- 車中などの高温場所
- 直射日光のあたる場所
- 水や湿気などの多い場所
- ゴミやほこりの多い場所
- 子供の手の届く場所
- ガソリンなどの引火物がある場所



⚠ 危険

- 当社充電工具および当社が認めた充電工具以外に使用しない。
- 当社充電工具専用の充電式電池パック以外を使わない。
改造した電池パック(分解して内蔵部品を交換した電池パックを含む)も使用しない。
- 電池パックは、火への投入、加熱をしない。
発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付ける。
取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

長持ちさせるために

- リチウムイオン電池パックは使用後、**充電せずに保管**してください。
- 熱くなった電池パックは、十分放熱させてから充電してください。
- 端子部に異物が付着している場合は、取り除いてください。

電池パックの寿命

寿命の目安/処置

フル充電しても初期の半分程度の作業しかできないときは製品寿命です。
当社充電工具専用の電池パックをお買い求めください。当社指定以外の電池パックを使用された場合の事故・故障については、一切の責任を負いかねます。

ご注意

電池パックの中の蓄電池のみを交換したリサイクル修理品の電池パックは使用しないでください。
異常な発熱、発火、破損、事故や故障のおそれがあります。

リサイクルについて

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
ご使用済み電池パックは再利用しますので廃棄しないで買い求めの販売店へお持ちください。(電池パックは短絡防止のため、端子部に絶縁テープを貼ってください。)



本製品の使用電池

- 名称: 密閉型リチウムイオン蓄電池 (LAタイプUR18650W)
- 公称電圧: 3.6 V
- 数量: 1本

電池パックを使用しないときは

保管の前に	充電せずに保管
再使用前に	フル充電

作業範囲

作業	相手部材	回転モード	作業範囲
ネジ締め	小ネジ	鉄	高速 ~M3
			低速 ~M5

※ 作業範囲、下記の作業量は、連続作業を保証するものではありません。
※ 連続的に作業を行なうと、本体が熱くなることがあります。

作業量

<1回のフル充電による使用能力>

● EZ9L10使用時/周囲温度20℃

※ 数値は目安です。電池パック性能の経時変化、相手材の硬さなどにより変わります。
また、締付本数は締付時間が長くなると少なくなり、短くなると増えます。

作業	相手部材	回転モード	ネジ、部材寸法	作業量	
ネジ締め	小ネジ	鉄	高速	M4×10 mm(バネ座金付)	約600本
				M5×8 mm	約830本

仕様

本体

モータ電圧	DC3.6 V	
最大締付トルク	高速(HIGH 約1.5 N・m(約15 kgf-cm))	
	低速(LOW 約3.5 N・m(約35 kgf-cm))	
回転数	高速(HIGH 約600回転/分)	
	低速(LOW 約200回転/分)	
質量(重量)	約0.48 kg(電池パック含む)	
大きさ(概略寸法)	ストレート時	全長276×全幅46 mm
	折り曲げ時	全長217×全高134×全幅46 mm

充電器 (EZOL21)

電源	AC100 V 50/60 Hz
消費電力	約27 W
質量(重量)	約0.52 kg

<充電可能な電池パック>

電池パックの種類	リチウムイオン電池	
	EZ9L21	EZ9L10
電池電圧	7.2 V	3.6 V
充電時間	実用	約35分
	フル	約55分

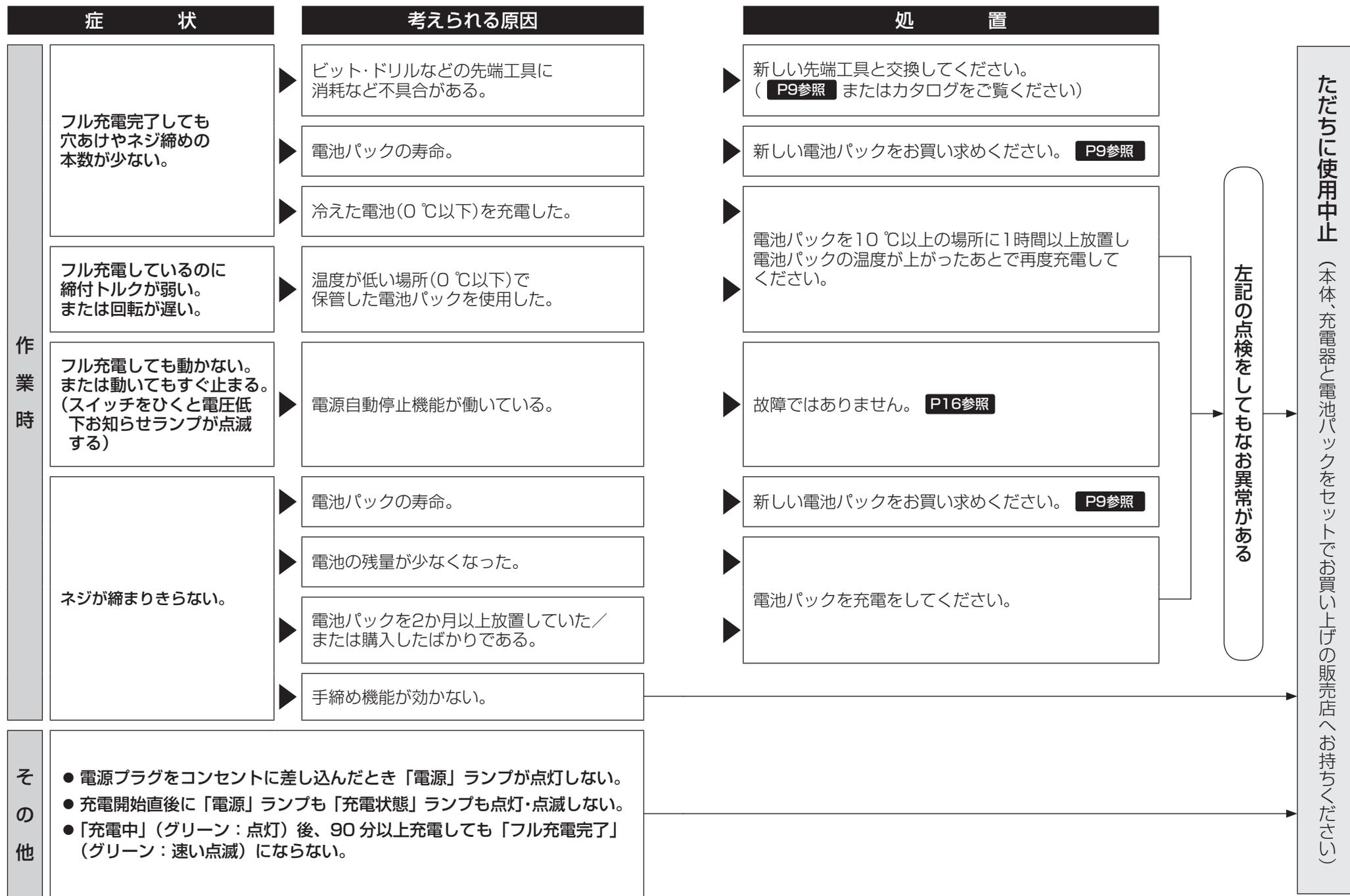
※ 充電時間は目安です。
周囲温度や電池パックの状態により異なります。

	症 状	考えられる原因
充 電 時	充電完了した電池パックを再度充電すると、充電状態ランプ(グリーン)が点灯する。	フル充電を検知するのに時間がかかるため。
	充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。	高周波で制御しているため。
	電池パックを差し込んでも充電を開始しない。 〔充電状態ランプ(グリーン)が点灯しない。〕	充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。 電池パックの温度が高い、または低い。
作 業 時	電源自動停止後に電池パックを抜き差しすると再起動する。	電圧制御のため。
	動かない。 または動いてもすぐ止まる。	手締めロックが解除されない。
		電池パックを充電していない。
		電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。
	ライトのボタンを押してもライトが点灯しない。	電池パック取り付け直後や、LEDライト点灯時5分以上/消灯時1分以上何も操作していない。
		電池パックを取り付けてから1度も作業していない
		電池パックを充電していない。
電池パックが故障している。		

処 置
そのまま放置してください。 しばらくするとフル充電完了(グリーン:速い点滅)になります。 P11参照
別のコンセントで充電するか、テレビ・ラジオから離して充電してください。
ゴミを取り除いてください。
周囲温度が0~40℃の場所で充電してください。 0~40℃の場所で充電している場合はそのまま充電を続けてください。 P11参照
電池パックを充電してからご使用ください。 P10参照
クラッチ目盛を高くして再度動作させてください。 P12参照
電池パックを充電をしてください。 P10参照
ゴミを取り除いてください。
スイッチ(正・逆転兼用)を入れてください。
電池パックを充電をしてください。 P10参照
新しい電池パックをお買い求めください。 P9参照

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止 (本体、充電器と電池パックをセットでお買い上げの販売店へお持ちください)



アフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、この充電スティックドリルドライバーの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

修理を依頼されるときは

20~23ページの表でご確認のあと、直らないときは、まず、電池パックをはずして、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	()	—			
電話	()	—			
お買い上げ日		年	月	日	

●製品名	充電スティックドリルドライバー
●品番	EYSDA1N-EYSDA1NS
●故障の状況	できるだけ具体的に

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

? **使い方・お手入れなどのご相談** 【受付時間】
365日/9:00~18:00

パナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター

 フリーダイヤル パナは ナットク
0120-878-709

■ 左記電話番号をご利用
いただけない場合
06-6906-1109

■ FAX フリーダイヤル
0120-872-460

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら
電話機ボタンの「8」と「11#」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※ご使用の回線 (IP電話やひかり電話など) によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 エナジーシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2020